

無責任

「おーせきにんって何ニー?」

(名・動)「文」ナリ

(一)責任のなごころ。責任を負わなごころ。

また、そのさま。「た、ためたよ」空気が読まないでー

「一行為」

(二)責任を盡入ごころ。責任感がかたごころ。
また、そのさま。

「おまか」……

「一に引き受ける」「一を察言」

「派生」一(一)(名)

「おまっせひ……」

(三省堂「大辞林 第二版」より)

「おーせきマタミはニオセキイイのー?」

「……ニオセキマセキ……」

「ニオセキマセキ……」

「おまっせひ、ニオセキ……」

「おまっせひ……」

瓢箪山人

清水らくは

瓢箪山に墜落した宇宙船から発見された宇宙人は
瓢箪山人と呼ばれることになった

辞書に新しい項目が追加されたが

漢字が難しいのでひょうたん人と呼ばれることも多く

web辞書にはそちらも追加された

また見た目がマルクスに似ていることから

スペースマルクシアンとかスペマルなども呼ばれたが

こちらはややこしいので採用されなかった

瓢箪山人は踊りがうまかった

瓢箪山ダンスが流行した

辞書に登録された

瓢箪山人はほとんど食事をせず

酸素も吸わずゴミも出さず

エコロジーの代わりにヒョウタンロジーと言われ始めた

まずはウィキペディアに載った

次々と辞書は更新されていった

千年が経過した

地球から地球人が消えて

瓢箪山人しかいなくなった

彼らは辞書に意味を見出さなかった

亡霊たちが恨めしそうに辞書を見ていた

そして緑にあふれた世界

平和な世界の中で

一切の辞書は不必要だった

辞書

半島

おまえたちは考えない
夕暮れに落ちる鳥たちも
ただ断面にすぎない

おれたちは採集された言葉だ

灰色に練られた夢、

ねじきられた空、

帰る場所のない水にすぎない

おまえたちは触るな

採集された意味は真夏の死体

おれの筋肉と骨もまた記号にかわる

あこがれを燃やしつづけ

なにもかも

焼け払われたことさえ忘れ去ってしまった時

おれは一冊の辞書である

それは

言葉として採集されつづけた肉体の勝ち得た

くらく濡れた炎である

そのときおれは初めて 肉のうすぐらさを知る

イメージキャラクター 無責任ちゃんと責任くん



『無責任』 第0号

責任者 清水らくは

副責任者 半島

イラスト 荻葉

連絡先 takuha@hotmail.com

発行日 2012年10月1日